

13

宮城学院キャンパス

CAMPUS OF THE MIYAGI GAKUIN SCHOOL

所在地	仙台市桜ヶ丘9-1-1
建築主	学校法人 宮城学院
設計者	(株)一粒社ヴォーリス建築事務所
施工者	株式会社 熊谷組 東海興業株式会社
竣工	昭和55年10月
location	Sendai City
owner	Miyagi Gakuin
architects	W.M. Vories & Co., Architects Ichiryusha
contractors	Kumagai-Gumi Co., Ltd. Tokai Kogyo Co., Ltd.
completion date	October, 1980

概要
建築概要
敷地面積 208,574㎡
建築面積 26,846㎡
延床面積 58,354㎡
構造規模 鉄筋コンクリート造，鉄骨鉄筋コン クリート造 地上1～6階
仕上げ概要
外装 屋根：アスファルト防水コンクリート押 えおよび砂利散布押え，一部シート防水折板葺 き(体育館)，塩ビ鋼板瓦棒葺き(講堂) 外壁： 煉瓦タイル貼り，一部P C版打込み，イギリス 貼りセメント系厚付吹付け材 外構：煉瓦タイ ル貼り，池回り玉石積み
内装 教室 床：モザイクパーケット貼り 壁 ：ラワン横目透し貼り，モルタル金鍍VEP 天 井：有孔石膏ボードVEP／音楽棟 床：ビニー ルアスベストタイル貼り，一部モザイクパーケ ット貼り 壁：有孔ラワンベニヤ貼りC L，グ ラスウール充填 天井：有孔ボード貼りVEP， 一部岩綿吸音板貼り／礼拝堂 床：モザイクパ ーケット貼り，ビニールアスベストタイル貼り 壁：特殊煉瓦割面化粧積み，コンクリート打放 しリブ斫り仕上げ 天井：ジョイントプラスタ ーボード厚12，パーライト厚付厚10吹付け
設備概要
衛生 給水：市水(飲料用水，給湯用)，雑用水 (便所，消火)の2系統 給湯：中央給湯方式， ガス貯湯式湯沸器，ガス瞬間湯沸器 排水：汚 水・雑排水合流式
空調 熱源：自然水頭加圧オープン方式，中温 水(105℃～110℃)地域暖房システム，A重油 焚き鑄鉄製セクショナルボイラー／空調方式： 単一ダクト式 管理室，一般教室，特別教室， 研究室の各系統ごとに分け，ラジエーター，コン ベクター，ファンコンベクター，パネルラジエ ーター，エアハンドリングユニット，パッケージ 型空調機等にて暖房
昇降機 エレベーター：乗用3基
消火 屋内消火栓，スプリンクラー，ハロンガ ス消火

大谷 幸夫 Sachio Otani
池田 武邦 Takekuni Ikeda
木島 努 Tsutomu Kijima

宮城学院の新キャンパスは、仙台市の北部、都心から約7kmの位置にあり、周辺一帯では急速な市街化が進行している。しかし、20haの当キャンパスでは、隣接する森や湖と連繋して自然がよく保存され、丘陵を削り谷を埋立てて住宅が密集している新興市街地の中であって、人々に心の安らぎを与えてくれる。総じてこのキャンパスにつくり出されたスペースの質と性格は、周辺市街地のそれとあまりにも対照的であったが、その基本は周到に計画された敷地の利用計画や建物配置計画にあるといつてよい。

設計者は三角形の敷地に、次のようなゾーニングを設定している。まず都市計画道路に接する西側の一边を、周辺市街地からの影響を考慮して緩衝空間とし、体育施設以外は修景緑地のゾーンとしている。三角形の他の2辺は、それに接続する森や湖と連繋した保存緑地とし、建物群はこのふたつの緑地にはさまれた中間のゾーンに、地形と対応してほぼY字形に配列されている。キャンパスのこのゾーニングは、敷地の自

然条件や周辺市街地状況を的確にとらえ、それに対応したきわめて素直で妥当な土地利用計画と思われる。

次に、このゾーニングを基礎とした建物配置計画では、キャンパスの中心部に広場を形づくるといったもうひとつの意図が読み取れる。修景緑地でもあるこの広場に立ったとき、学園の中心的建築である礼拝堂・講堂はもとより、学園を構成するほとんどすべての部局・部門の施設を見ることができ、また、各建物の1階足元まわりには回廊がめぐらされ、広場の利用を助けるとともに、広場によるキャンパスの一体感を高めている。

個々の建物については、簡潔なデザインに徹し、共通の簡素な、しかし確かな素材と技法が適用されている。一方、各建物それぞれの固有性・特殊性は、その外形や空間構成に反映され、画一的なデザインの弊害を抑え、統一感と同時に適度な変化に富む景観をつくり出すことに成功している。なお、土の色調の外装タイルは、周辺の緑や冬の雪景色にも調和し、キャンパスの景

conservation zones, and the campus buildings are placed among them in a configuration very close to that of the letter Y. This way of interpreting the natural beauties of the land and the possibilities of outside influences is both frank and correct.

From the plaza — newly planted with trees — that forms the heart of the layout it is possible to see at once not only the chapel, the leading architectural feature of the ensemble, but also the main lecture hall and the buildings of almost all the other college departments. Colonnades on the first-floor levels of most of these buildings both facilitate use of the plaza and unify the whole campus.

Sophisticated techniques and skill at handling materials give all the buildings a clean, simple appearance. Though the overall impression is one of unity, preservation of the individuality of each building saves the ensemble from

観形成に重要な役割を果たしているが、同時に、すべての建物の基準寸法がこのタイルによって決定されている。そこに設計者の建築に対する考え方や方法の一端をうかがい知ることができる。

総じて当キャンパスでは、敷地計画から建物設計にわたり、明解な構成原理を読み取ることができる。これらの原理は、敷地の自然条件や周辺市街地状況に、的確に対応することによって導かれたものであり、あるいは設計者の確かな建築観がもたらしたものである。いずれにしても、これらの確かな原理によって、統合感をもつ端正なキャンパスの形成に成功しているが、同時に自然やそれぞれの固有性に素直に応答することを通して、キャンパス全体は変化のある豊かな空間として現出している。

当キャンパスは、人間形成の拠点と環境を、自然ならびに社会の中でいかにしてつくりこれを育てるか、といった命題に対するひとつのすがすがしい事例として銘記されるだろう。

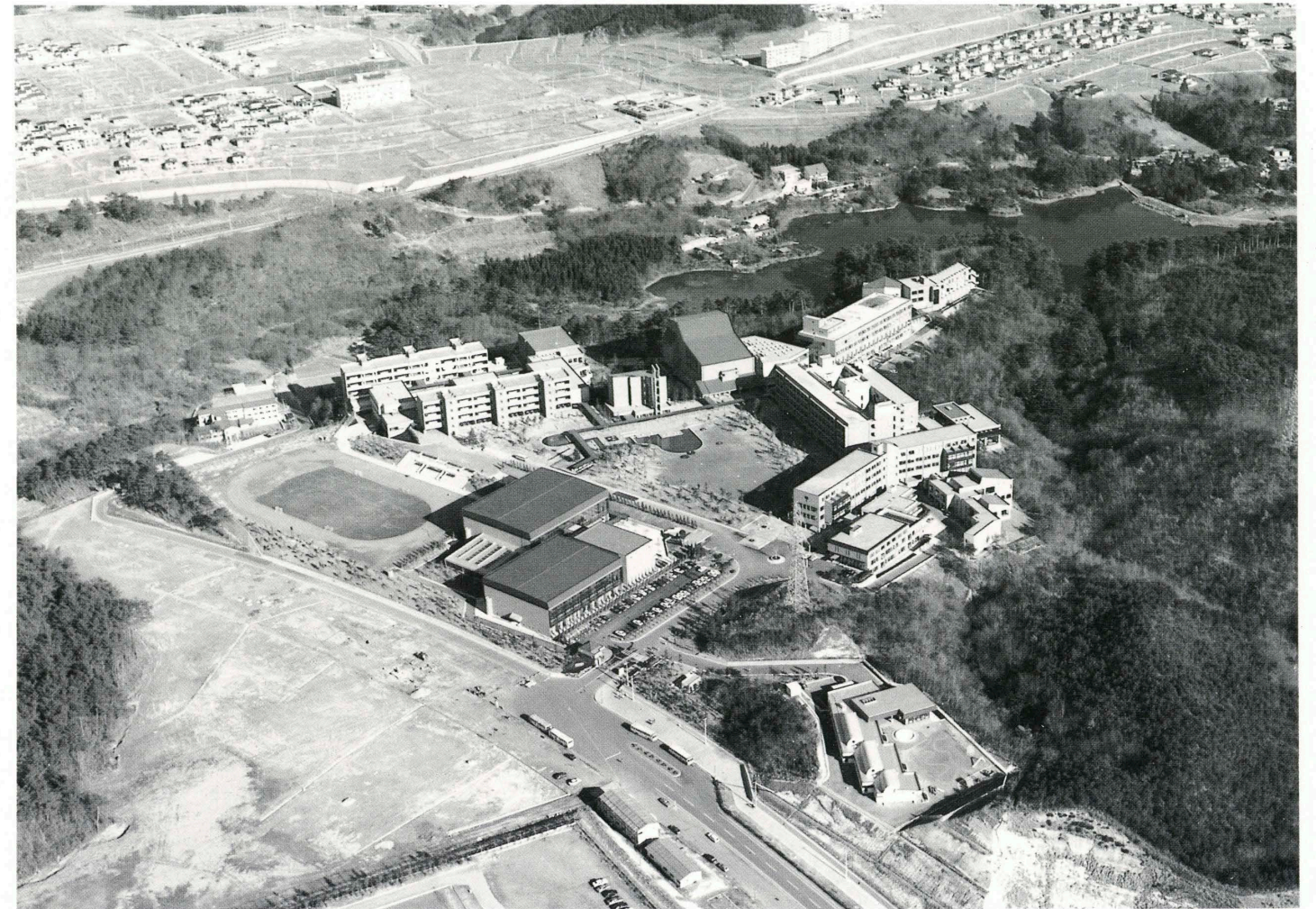
monotony by providing just the right degree of variation.

The exterior walls are covered with earth-colored tiles that harmonize well with the greenery of summer and the snow of winter. In addition, the sizes of the tiles determined the basic module of all the buildings. Usage of this kind reveals an important facet of the designer's approach to architecture. The clear compositional principles governing everything on the campus from site planning to architectural design have been evolved in relation to the natural conditions of the site itself and influences from the surrounding environment. An expression of the designer's architectural philosophy, these principles have made possible the development of a dignified campus that responds directly to natural and other conditions and is at the same time a unified, but pleasantly varied, whole.





上：グラウンドより見る
中：礼拝堂・大講堂
右頁上：上空より見る
右：人文棟・事務棟本館



top: View from the athletic field
middle: Chapel and main lecture hall
facing page: Aerial view
right: House of liberal arts and the office wing



上：礼拝堂
左：講義棟より礼拝堂を見る
右：講堂

top: Chapel
left: View of the chapel from the lecture wing
right: Main lecture hall



